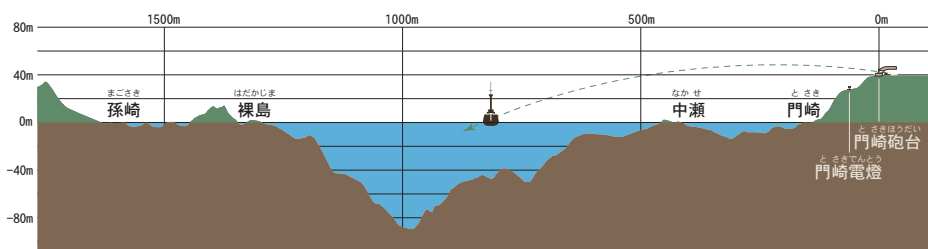




てきかん なると かいきょう つう か
敵艦が鳴門海峡を通過しよ
うとするまさにその時、てきかん
ほうげき かいきょう ふう さ
を砲撃し、海峡を封鎖します。



と さき ほう だい
← 門崎砲台



報告書を公開しています。 <http://sitereports.nabunken.go.jp/142956>

と さき ほう だい 門崎砲台



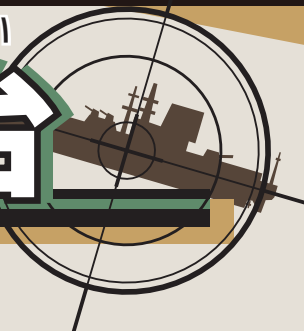
と さき ほう だい めい じ ねん かんせい
門崎砲台は明治32年に完成
した、旧日本陸軍がつくった
なると ようさい いち ぶ
鳴門要塞の一部です。



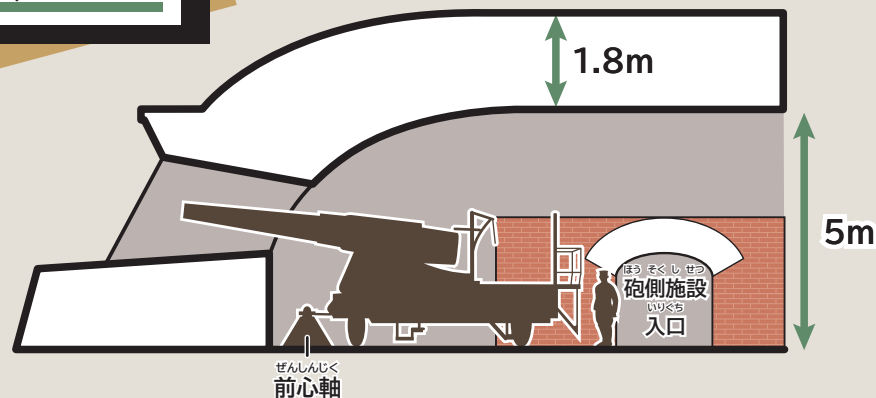
じょう くる み と さき ほう だい
上空から見た門崎砲台

図解

門崎砲台



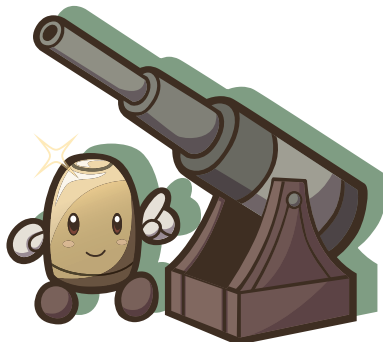
横から



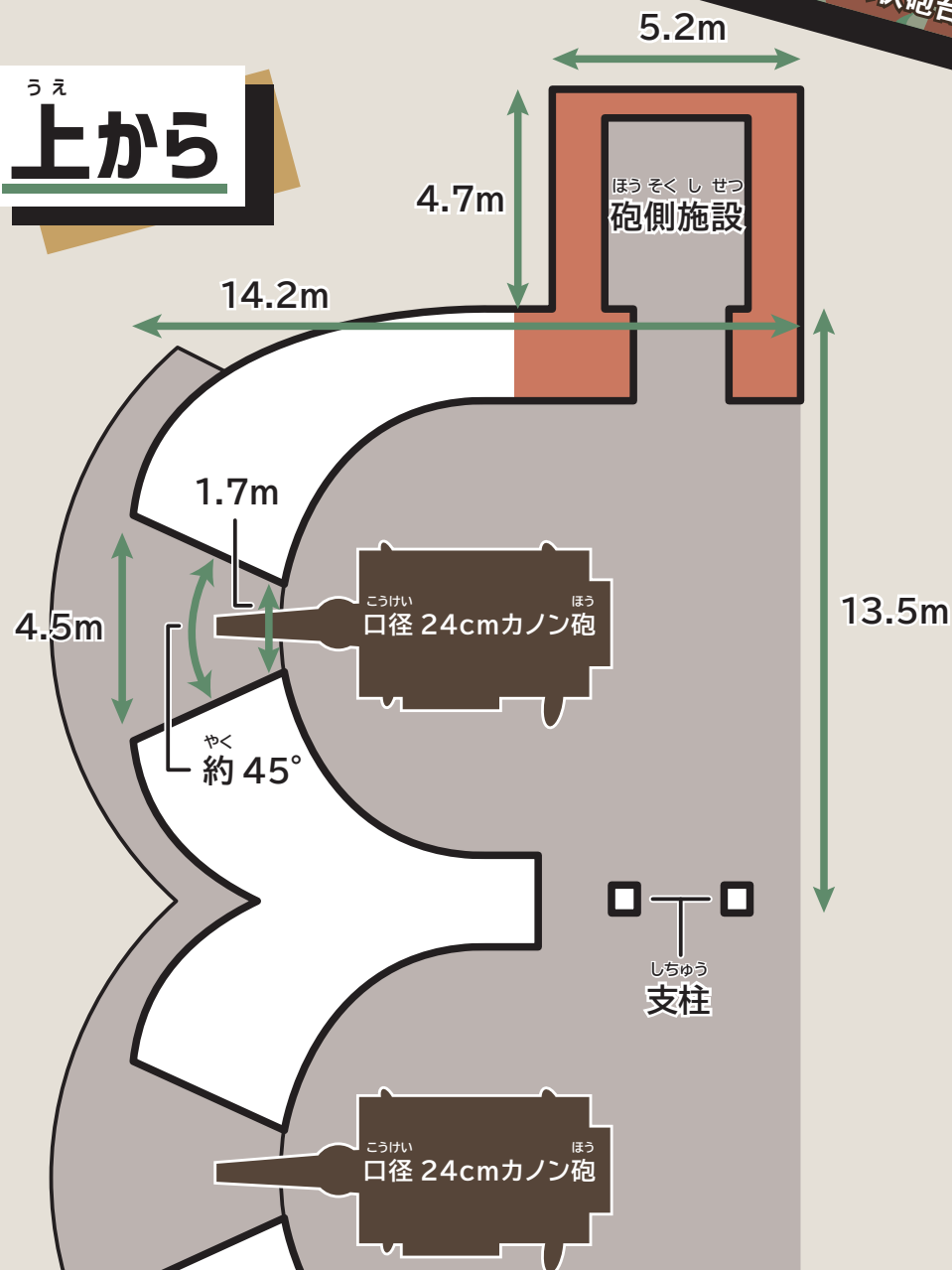
門崎砲台の特徴

穹窿砲台と呼ばれるドーム状の砲台は口径24cmカノン砲2門を備えていました。

明治期の砲台は天井が無いのが一般的です。門崎砲台は岬先端にあり、敵艦から狙われやすい場所だったため、防御のための天井が必要でした。



上から



日本最大級
ドーム状砲台